

平成 27 年度 北海道体育学会総会

■日時：平成 27 年 11 月 29 日（日） 11：35～12：10

■会場：名寄市立大学 本館 2 階 321 教室（北海道名寄市西 4 条北 8 丁目 1）

- ・会長挨拶 志手典之会長より、挨拶があった。
- ・大会長挨拶 関朋昭大会長より、挨拶があった。
- ・議長団選出 黒河あおい氏 [名寄市立大学]、吉川博人氏 [北海道教育大学大学院]

■報告事項

1. 各種委員会等からの中間報告

1) 研究委員会（安田研究委員長）

研究助成の運用方法について、引き続きご意見いただきたいとお願いされた。

2) 編集委員会（石澤編集委員長）

第 50 巻の発刊と投稿規程の変更（以下、下線部の追記。掲載料 15,000 円 （税抜））が報告された。「論文の種類」の内容説明を編集委員会で協議し、年内を目処にホームページに掲載することが報告された。

3) 広報委員会（小出広報委員長）

次号の第 7 巻について、現在原稿の依頼中（第 55 回大会傍聴記、若手研究者賞受賞者への依頼原稿等）であることが確認された。大会の様子をホームページに掲載することへの理解がお願いされた。

4) 大会委員会（関大会委員長）

参加者数 59 名、発表演題数 33 題（内、口頭発表 23 題、ポスター発表 10 題）であったことが報告された。

5) 事務局（安部幹事）

現在の会員数が 208 名（これとは別に、7 名が宛先不明）であることが報告され、会員の住所や所属等が変更された際には、事務局まで届け出るようお願いされた。今年度（11/29 現在まで）の会計収支の状況が報告された。

2. 日本体育学会関係（志手会長及び神林理事長）

一般社団法人日本体育学会が提案する地域組織のあり方に関する改正案の説明があった。改正案に賛同することが了承されたが、次の 2 点を日本体育学会に申し入れることが確認された。①地域組織のあり方に関する移行を進めるならば、各地域の活動の実情に合わせてより一層の経済的支援が必要であること、②地域学会への所属の意思を会員に確認する際、地域学会活性化のために現状（会員継続）が維持されるような周知の仕方を検討いただきたいこと。また、これとは別に、本学会独自の自律的な組織運営に向けて、学校関係者や民間スポーツ関係企業向けの話題提供の実施や学会誌の充実、広告掲載費の獲得による資金集め等を行う必要性などを検討していくことが確認された。今後とも本学会活性化のために、お力添えいただくことがお願いされた。

3. その他

・神林理事長より、本学会活性化や経費削減のために、「①学会ホームページの推進、②事務局からの連絡・案内等の電子メール化、③役員選挙の電子化」が提案され、これが了承された。これに伴い、次の事務局からの連絡・案内（郵送）時に、メールアドレスをお知らせいただく通知書の同封が確認された。

■協議事項

1. 平成 28 年度事業計画（案）（神林理事長）

平成 28 年度の事業計画（案）が提案され、これが承認された。

■その他

- ・神林理事長より、平成 28 年度北海道体育学会第 56 回大会について、酪農学園大学で開催することが報告された（日程は、平成 28 年 11 月 19・20 日で調整中）。
- ・神林理事長より、学会ホームページに、学会誌、発表抄録、ニュースレターを掲載する考えであることが報告された。

■若手研究者賞授賞式

- ・安田研究委員長より、若手研究者発表の講評と受賞者 2 名の発表が行われた。
渡部峻氏（北翔大学大学院生涯スポーツ学研究科）
稲川祥史氏（北翔大学大学院生涯スポーツ学研究科）

志手会長より若手研究者賞が授与され、受賞者の先生方から挨拶があった。

以上